

今、高校生として学ばなければならないことは
- Learning To Learn(学び方を学ぶ)能力を身に付けよう -

開倫塾
林 明 夫
(<http://www.kairn.co.jp/>)

1. はじめに

(1) 仕事

株式会社開倫塾代表取締役社長 (学習塾)
マニー株式会社 社外取締役 (手術用縫合針製造)
宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

(2) 社会活動

経済同友会...「政策提言」
栃木県社会教育委員
開倫ユネスコ協会...人間の安全保障 (Human Security ヒューマン・セキュリティ)の推進
「心の中に平和の砦(とりで)を築こう」
(ア)保護 (protect プロテクト)
(イ)能力強化 (empowerment エンパワーメント)
特老...理事
不登校であった生徒のための高校...評議員

(3) 執筆

コラム(新聞、雑誌)
ラジオ
講演、スピーチ

ブレア首相(元イギリス首相)
—
どんな小さなスピーチにも必ずメモをつ
くり、すべて暗記してから行った。

(4) 私の使命(mission ミッション)

成功の実現に貢献すること
持続可能な社会の形成に寄与すること

2. 今、高校生として学ばなければならないこととは

(1) 現代社会に即応した「鍵になるような基本的能力(Key Competency キー・コンピテンシー)」を身に付けること

「知識基盤社会」(Knowledge Based Society ナレッジ・ベースト・ソサイアティ)

↳ 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

(ア) 小学校・中学校・高校・大学・短期大学・専門学校・大学院などで学ぶ内容

↳ 学校で学ぶことはすべて重要。正確に「理解」と「定着」をさせ、「応用」力を身に付けること。

(イ) コンピュータなどから得られる情報

↳ 「コンピュータ」なしでは仕事・社会活動は十分にできない。コンピュータは、必ず身に付けること。

(ウ) 高度専門職業人として、専門分野の高度な知識・情報・技術を身に付けること。

「グローバル化した社会」 (Global グローバル)

↳ 「多様な集団で交流する能力」(Diversity ダイバーシティ)

(ア) 言語、文化、価値観(大切にするもの)、生活様式(Way of Life)、育った環境が全く異なる人々の集まりの中で交流できること。

(イ) 多様性をそのまま認めることができるのも能力。

自分の意見と全く異なる意見を、自分の意見と同様大切にすること。「寛容(Tolerance トレランス)」

(ウ) 世界の共通語としての「英語」によるコミュニケーション能力は欠かせない。

「超高齢化社会」「資源の限られた社会」

↳ 「自律的に活動する能力」(Self-Control セルフ・コントロール、自制心があること)

(ア) 行動は自由。但し、「自己責任」「自助努力」が求められる。

(イ) ルールの中でのプレイが求められる。何がルールかを知ること、身に付けることが求められる。

・ 法律に反した行動は認められない

犯罪行為... 刑罰の対象	... 刑事責任
不法行為... 損害賠償の対象	... 民事責任

(法とは何か。法律とは何かを学ぼう)

・ 道徳に反した行動は評価されない(自分がされていやなことは相手にもしないこと。)(道徳とは何か。法律とどう違うのかを学ぼう。)

(ウ) 高い志(こころざし)をもつこと。高い志は持続させること(持続する志)。

・ 「歴史における個人の役割」とは何かを考えよう。

・ 何のために今、学ばなければならないのか。大学・短期大学・専門学校に行って何を学ぶのか。高等学校や高等教育機関を卒業後どのような仕事に就きたいのか。どのような社会活動、生活をしたいのか。何のために働くのか。何のために社会活動をするのか。何のために生きるのか。どのように生きるのか。

↳ 高校生であれば、自分の一生を真剣に考えよう。

* 何のために働くのか

・ 「生活できるだけの収入を得るため」
・ 「仕事を通して自己実現するため」

これを日本における Decent Work(デューセント・ワーク)という

(エ) 「躰(しつけ)」とは、「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」と「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」をいう。高校生は美しく生きよう。

(2) 鍵となるような3つの基本的能力を身に付けるための前提となる能力とは

「学び方を学ぶ(Learning To Learn ラーニング・トゥ・ラーン)能力」

↳ 自分なりの学び方を身に付けていること。「自己学習能力」ともいえる。

例：例えば、私は学習を3つの段階(ステップ)に分けて、1つ1つ丁寧にステップを踏むことで、ものごとを学ぶことをお勧めしている。「学習の3段階理論」と名付ける。

第1段階「うんなるほど」とよくわかる、納得する段階 「理解」という。

「理解」は、学校などの「授業中」に行われることが多い。そこで、「授業の受け方」が「理解」のためには重要となる。

- ・ 先生の間を見て、一語一句聞き逃さないという真剣な態度が大事。(手は机の上に置く)
- ・ 大切なことはすべて書き取り、後で整理をして、すべて覚えること。(ノートの取り方が大事)
- ・ 授業による理解の妨げとなることはしない。(欠席・遅刻・早退・忘れ物・おしゃべり・居眠り・携帯電話・徘徊(はいかい)・ポーツとしていること・授業外のことをすることは厳禁)

「理解」は自分一人でもできる。(自学自習による「理解」)

- ・ 教科書はどんどん予習すること。「予習をして、わからないことははっきりさせて授業に臨むこと」。辞書を用いて意味調べをすること。問題はすべて解いてみること。
 - * 音読練習・書き取り練習まで、予習の段階で終了させておくこと。
- ・ 一度授業を受けたことでも、十分わからなければ、授業終了後にもう一度教科書などを勉強し直すこと。「辞書」や「参考書」を用いること、授業中に取った「ノート」を読み返すことができるのも大切な「能力」。
 - * 図書館を最大活用して調べることも大事な「能力」。
- * 社会に出てからの勉強は「自学自習」が多い。(「高等教育機関」でも「自学自習」が大事)

第2段階 一度「うんなるほど」と十分「理解」した内容をスミからスミまで正確に身に付けること 「定着」という。

「定着」は、自分一人で行わなければならない誰も助けてはくれない。(一度「理解」したのも、時がたてば大半は忘れ去ってしまう。忘れないうちに自分の力で「定着」させることが、学力向上の絶対条件。知識を身に付ける上で欠かせない。)

1. 一度「うんなるほど」と「理解」したことを、スラスラ正確に言えることが第一。そのために一番効果があるのが、「教科書」や「ノート」を「声を出して何回も読むこと」
 - ↳ 何十回、何百回も「音読練習」を。《昨日まで学んだことをまず音読してから、今日の範囲を学ぶことは絶対の効果を発揮する。「短期記憶」を「長期記憶」にする》
2. スラスラ言えるようになった内容を正確に楷書(かいしょ)で、つまり教科書の書体
 - ↳ で、点や画を略したり続けたりしないで書くこと。英語のスペリングも同様。
 - 「書き取り練習」を。(書けるようになるまで何十回、何百回も)最低でも20回は書くこと
3. 一度解き方やなぜそのような解になるのかを十分に「理解」した計算や問題は、問題を見た瞬間に条件反射でスラスラと解答が出るまで「計算・問題練習」を繰り返すこと。(最低6回)

これを定着のための「3大練習」といいます。

* どのような学校でも、学校の定期試験はこれだけで 100 点が取れる。

- ・「ノート」を正確に覚えることは欠かせない。そのために、「授業中」は手が痛くなるほどノートを取ること。自分で調べたことは、すべてノートにメモし続けること。覚えやすいように「ノート整理」をすること。
- ・「定着」の段階でも、少しでも意味不明な語句は「辞書」「参考書」で確認すること。「地図」、「年表」、「条文集」、「理科」などの資料集にもどんどんアクセス(接近)し、自分のものにする。
- ・中学・高校時代の教科書、ノート、参考書は一生の宝、絶対に処分しないで時々読み返すこと。そうすれば、一度身に付けたものなので一生身に付いている。もっともっと深まっていく。中学校や高校の勉強内容は一生役に立つものが大半。役に立たないものは一つもない。

第 3 段階「理解」「定着」した内容を、試験や社会で役立てることができる。「応用」という。

「応用」には、「試験で合格点が取れる」とこと、「社会で用いることができる」とことの 2 つがある。

1. 試験(入学試験、検定試験、国家試験、採用試験など)で合格点を取るためには、「過去に出題された問題(過去問)を 5 ~ 15 年分、自分の力で 5 ~ 6 回解くこと」。
2. 実際の社会で役に立てるためには、「失敗を恐れずどンドン使ってみること」。

「読書により、熟慮、熟考、省察、思慮深さ」が身に付いていること。

(ア) **高校生は本を読もう** 本は深く読むこと。行間も読むこと(作者が言いたいこと Read Between Lines)

本は 5 ~ 6 回読む。印象に残ったことは「書き抜き読書ノート」に書き抜き、繰り返し音読する。

(イ) 高校生のうちに「文庫本」「新書本」に親しみ、「ゆっくり」「ていねい」「大量」に読もう。(週に 1 ~ 2 冊は...。)

(ウ) **高校生は新聞を読もう(英字新聞も読もう)** 「新聞を読んで考えよう」。高校生は毎日、1 時間以上新聞を読んで考えよう。

* 「世界同時株安」「日本の円の独歩高」「アメリカ合衆国オバマ新大統領誕生」「日本でも衆議院総選挙近い」「行財政改革、公務員改革、年金改革...」すべて自分たちの今日の生活、明日の生活、10 年後・20 年後・50 年後の生活に関連する。

* 新聞を読んで身に付くのは「批判的思考能力 (Critical thinking クリティカル・シンキングの能力)」。新聞は現在の問題点を示す。「あるべき姿」をどうつくるのかは、読者の責任。(新聞を読んでいれば、オレオレ詐欺の被害者にはなりにくい。目の前に起きていることを「批判的」に見ることが大事。)

御参考まで

— 大学教育の現状 —

- 問題 -

- (1) 学力不足の大学生
 - (2) AO 入試の弊害
- { 勉強をしない高校生が大学進学をしてよいのかという批判が社会にはある。そのように言われないように、高校時代にはしっかり勉強しよう。 }

- 対策 -

- (3) 補修教育(リメディアル教育)
 - (4) 初年次教育
 - (5) キャリア教育
- { 放送大学を }
{ 活用しよう }

— 高校生はしっかり勉強しよう —

3 . おわりに - 私の好きな言葉 -

(1) 「健康第一」(林明夫)

心の健康

身体の健康(体力を身に付けよう)

* 「タバコ」はダメ。大麻・覚醒剤は絶対にダメ。

(2) 「いつまでも若々しく生きる」(中村天風先生)

(3) 「会った人は皆友達」(京都一燈園石川洋先生)

「捨てなければ得られない」

「よいことをして忘れる」

「あなたは本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」

(4) 「離見(りけん)の見(けん)」(世阿弥 - 風姿花伝(花伝書) -)

(5) 「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心に平和の砦(とりで)を築かなければならない」(ユネスコ憲章、前文)

(6) 「目には遠いが心は近い」(インドのことわざ)

(7) 「教育ある人とは一生勉強し続ける人」(ドラッカー先生)

(8) 「一生勉強、一生青春」(足利市在住の書家 相田みつを先生)

(9) If you can dream, you can do it!(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれをする事ができる)

* 高校生のうちに、将来一人で生活するときに必要なことを少しずつ身に付けておくことを、最後にお勧めします。

例：1 . 買物の仕方

8 . 収入の中で生活する方法

2 . 食事の作り方(料理の方法)

9 . 外食の仕方

3 . 部屋のそうじの仕方

10 . 手紙の書き方

(片付け方)

11 . 電球の換え方

4 . ゴミの出し方

12 . パソコンの使い方

5 . トイレのそうじや風呂場のそうじ方法

13 . ストレスの解消方法

(トイレのなおり方)

14 . 図書館の利用方法

6 . せんたくの仕方

15 . 公園、美術館、博物館などの利用方法

7 . 1日の過ごし方

16 . 市役所、区役所などの利用方法

Q1 皆様の好きなことは何ですか。

(1) _____

(2) _____

Q2 ご質問、ご批判、コメント、感想をお書き下さい。

(1) _____

(2) _____

以上

御清聴を感謝申し上げます。

- 2008年11月10日 6:00.am 記 -

